

“次世代への挑戦！！”

自民党真政 さいたまま市議会議員

井原ゆたか

井原ゆたか市政レポート vol.10 (発行日) 令和2年3月
(発行) 井原ゆたか事務所 さいたまま市中央区下谷台 1071-1 MIビル4 3F

活動報告

中央区の身近な問題から、さいたま市の将来像に関わる問題まで、幅広く行政へ提言をしております！

1 12月定例会にて一般質問

1. SDGs Goal5 ジェンダー平等に向かって
2. 真の“スポーツのまち”の確立

2 令和2年度当初予算の審議

1. 中央区役所周辺の公共施設内編および北与野駅周辺の整備
2. 東京2020大会関連予算
3. 中央消防署の移転整備事業

3 中央区における実績

1. 本町小学校複合施設“しーよの”の完成
2. 北与野駅前からくり時計の修繕

ご挨拶

2020年を迎え、いよいよ東京2020オリンピックパラリンピック大会が目前と迫ってきました。我々の暮らす中央区においても、さいたまスーパーアリーナでバスケットボールの全試合が行われるので、さいたま新都心駅および北与野駅周辺に多くの来場者が訪れることでしょう。一方で交通規制の関係もあり、開催期間は日常生活にも影響があることも予想されます。市民の皆様のご迷惑をおかけしないよう、オリンピック組織委と交渉するとともに、またとないオリンピックの機会を活かし、さいたま市の魅力も世界に発信できるように考えてまいります。

2月定例会において、1兆円を超える予算案の審議が行われました。福祉や子育ての経費が増えていく一方で、継続して市としての興行でもあるさいたまクリテリウムには2億円を超える多額の予算がつき込まれ、まちへの投資の予算は100億円近い減額もされています。限りある財源の中で、将来的なまちの成長も期待できるような中長期的な未来を見据えた予算を構築することが求められるでしょう。本レポートでは、私の一般質問および予算委員会質問を中心に、皆様にご報告いたします。

12月定例会にて一般質問

1 SDGs Goal5 ジェンダー平等に向かって

SDGs の考え方は今年加速的に普及しましたが、日本では特に“**ジェンダー平等**”という点で世界諸国に大きな後れがあります。そこで、以下について提案しました。



他市に負けない保育環境

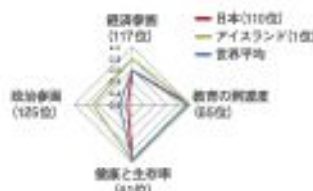
松戸市の視察を参考に、**保育士への補助の拡充**や**病児保育の環境整備**等の観点で要望しました。保育士への月額補助は、都内や近隣市よりも低い水準であるため、さいたま市としての補助の増額を求めました。また**病児保育**については、認可保育園へ通園の子どもたち以外でも制度を使えるよう、そして急な体調不良にも対応できるよう当日の受け入れも出来るよう改善を求めました。



【松戸市のパンフレット】
松戸市は保育士へ手厚い補助があるなど、子育て政策に力を入れています。

女性が働きやすい環境整備

男女共同参画の実現という意味で、民間会社にその考え方を求めていく一方で、市役所内においても地域の模範となる取り組みが必要です。より“**フレキシブルな働き方**”が出来る制度の導入を求めると共に、制度を作って取り組んでいますというアピールで終わることなく、ジェンダー平等という意識を職場に持たせる“**マインドの教育**”の重要性を提案しました。



【Gender Gap Index 2018】
日本の女性活躍は世界基準において、特に経済と政治の分野では大きな後れがあります。

2 真の“スポーツのまち”の確立

さいたまクリテリウムには毎年総額で約4億円の市税が投入されており、その事実は市民の皆様もあまり知らない状況です。そこで、**多額の税金を使っていることを市民に周知**した上で、今後どうしていくか？を市民と共に判断することを求めました。一方、**スポーツビジネス**が形成できるさいたま市を目指すために、市民が観るスポーツを楽しむと同時に、スポーツに取り組む環境も増やすことを目的とした“**ミニアリーナ**”への投資を求め、今後整備予定である**与野中央公園への設置**を提案しました。



【さいたまクリテリウム】
7年連続開催で、約20億円の市税が使われています。興行イベントへの多額の税金の投入には反対です。

令和2年度当初予算の審議

point

健全な財政を保っているものの、さいたま市としての特色がイベントへの多額の予算投入以外は見られない予算編成が続いています。一方で、建設事業費は年々減少しています。また、国の方針による幼稚園・保育施設等の無償化に伴う予算が増額しています。

支出(一般会計)は年々増加傾向



1 中央区役所周辺の公共施設再編および与野本町駅周辺の整備(約2000万円)

旧市で残存している唯一の区役所が中央区役所ですが、いよいよ整備計画が来年度中に策定予定です。周辺にある多くの公共施設を再編し、民間の収益施設も誘致することで、コストを抑えつつも近代的な施設へと建て替えを提案しています。



【中央区役所の現状】
築50年が経過し、老朽化が進んでいます。

2 東京2020大会関連予算(約7億円)

オリンピック開催が目前となりました。中央区においてもさいたまアリーナにてバスケットボールが開催されるので、多くの来訪者にまちの魅力を発信できるよう、また外国人にも日本の文化を楽しんでいただけるよう、中央区のお祭りとの連携も考えたいです。



【さいたまの盆踊り】
例えば、北与野駅前で行われている盆踊りも我々の地域の大きな魅力です。

3 中央消防署の移転整備事業(約23億円、継続事業)

来年秋の供用開始を目指し、いよいよ建設工事に着手します。広域的な防災拠点として、市民の安心安全の向上につながります。一方で、隣接する赤山通りでは新たに右折レーンの設置も行う予定で、右折待ちによる交通渋滞の解消が期待されます。



【中央消防署の完成イメージ】
老朽化していた中央消防署が移転することで、公共施設再編の第一歩にもつながります。

■ 中央区における実績 ■

1 本町小学校複合施設“いーよの”の完成

私の母校であり、議員になる前からワークショップに参加して、計画を作りましたが今年4月に完成を迎えます。与野郷土資料館、子育て支援センター、放課後児童クラブが入る施設です。ぜひ多くの方々にご来場いただきたいです。



【本町小の新たな施設の外観】

2 北与野駅前からくり時計の修繕

北与野駅前のからくり時計は旧与野市時代にシンボルとして設置されました。オリンピック期間には多くの来場者が訪れることが期待されるので、地元からのご要望も受け、夏前までに塗装の塗り替えと修繕を行います。



【北与野駅前のからくり時計の現状】

コラム：さいたま国際マラソン開催中止

昨年12月に開催されたさいたま国際マラソンにて5年連続5回目の完走を果たしました。しかし、コースが厳しい、そして有名選手が集まらないという理由で、以後中止の決定がなされました。コースが厳しすぎることは、私が議会でランナー目線から何度も指摘し続けてきたことであり、多額の税金を使って開催し続けてこの結果はあまりにひどすぎます！市民に愛される市民マラソンの復活を今後提案してまいります。



井原 ゆたか プロフィール ● 昭和58年1月13日さいたま市生まれ（37歳）

湘南与野幼稚園 卒園	平成 22年	東芝ソリューション株式会社 入社
与野本町小学校 卒業	平成 25年	トヨタ自動車株式会社 入社(出向)
麻布中学校・高等学校 卒業	平成 27年	さいたま市議会議員 初当選
東京大学理学部天文学科 卒業	平成 31年	さいたま市議会議員 当選(2期目)
東京大学大学院博士課程 修了		



井原ゆたか事務所

〒338-0002 さいたま市中央区下落合1071-1MIビル4 3階
Tel : 050-3418-7058
Fax : 050-3588-4018
Mail : contact@yutakaihara.jp

井原ゆたか 公式HP <http://www.yutakaihara.jp/>